

椎骨脳底動脈閉塞に対する緊急カテーテル治療前に 脳梗塞発症機序を推定する上での造影 CT の有用性の検討

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2013 年 1 月より 2019 年 7 月までに湘南鎌倉総合病院脳卒中診療科で椎骨脳底動脈閉塞症に対してカテーテル手術を受けた方。

2. 研究目的・方法

術前造影 CT と脳梗塞機序の関係についてすでに得られている診療録の情報を元に検討します。これにより、脳梗塞の原因に合わせた治療方針を術前にたて治療時間を短くして成功率を高めることが期待できる可能性があります。

研究期間は施設院長承認から 2020 年 1 月までです。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、脳卒中危険因子(高血圧、脂質異常症、糖尿病)、重症度、心房細動の有無、来院時の頭部造影 CT、カテーテル治療時の血管造影所見 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：鎌倉市岡本 1370 番 1

電話番号：0467-46-1717

担当者（研究責任者）：吉岡和博

所属：湘南鎌倉総合病院・脳卒中診療科

(2019 年 7 月 10 日作成 (第 1.0 版))

雛形 2019.07.01